

福島工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	英語 V	
科目基礎情報							
科目番号	0119			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	ビジネスコミュニケーション学科			対象学年	5		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	FIRST MOVES (東京大学出版会) 大学生のためのCNNニュース・リスニング: STEAM教育編 CNN Short News for Listening: Business 朝日出版社						
担当教員	勅使河原 智子,本田 崇洋						
到達目標							
様々な読解トレーニングをしながら、英語で思考を組み立てる。 100点以上伸ばす。 語彙力・リスニング力・リーディング力をつける。					TOEIC・スコアを		
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		各授業項目の内容を理解し、応用できる。		各授業項目の内容を理解している。		各授業項目の内容を理解していない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	1. 英語の総合力をつける。 2. 現在のTOEICスコアを100点以上伸ばすこと。						
授業の進め方・方法	定期試験の成績を70%、授業演習、小テスト、課題等を30%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。 できるだけTOEIC本試験を受験すること。中間試験は50分で実施。						
注意点	演習中心の授業を行う。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	Introduction Chapter 1		Orientation Sturcture 段落の構造 Paragraph		
		2週	Chapter 1		Format フォーマット 3rd-person focus 三人称の叙述		
		3週	Chapter 1		Titles 表題		
		4週	Chapter 2		Writing process Developing ideas Narrowing a topic		
		5週	Chapter 2		Outlines Format Editing		
		6週	Chapter 2		Editing Format		
		7週	前期まとめ 1				
		8週	前期まとめ 2		試験答案返却・解説、その他		
	2ndQ	9週	Chapter 3		Transition signals 接続語・句		
		10週	Chapter 3		this + summary word 要約の言葉		
		11週	Chapter 3				
		12週	Chapter 4		Hedging 和らげの言葉 and so on...など...		
		13週	Chapter 4		Hyphenation ハイフンの用法 Punctuation 句読点		
		14週	Chapter 4				
		15週	前期まとめ 3		試験答案返却・解説、その他		
		16週					
後期	3rdQ	1週	Chapter 5		Passive voice 受動態		
		2週	Chapter 5		Past perfect tence 過去完了時制		
		3週	Chapter 5		Vocabulary shift 語彙のレベル		
		4週	Chapter 6		Definitions 定義		
		5週	Chapter 6		Classifications 分類		
		6週	Chapter 6				
		7週	後期まとめ 1		試験答案返却・解説、その他		
	4thQ	8週	Chapter 7		Relative clauses 関係節		
		9週	Chapter 7		Participial clauses 分詞節		
		10週	Chapter 7				
		11週	Chapter 8		Cause/effect language を表す表現 因果関係		
		12週	Chapter 8		Citations 引用		
		13週	Chapter 8		References		
		14週	後期復習		後期試験対策・総復習		

		15週	後期まとめ 2		試験答案返却・解説、その他	
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前9,後1
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前9,後1
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前9,後1
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前9,後1
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後1
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後1
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後1
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後1
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後1
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後1
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後1
				英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3
			英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。		3	前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14

				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後8,後12,後13,後14

評価割合

	試験	課題等	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	30	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0